

出場選手全員に活躍の場を

ホームメックス
みよし北中が優勝
中学交流野球大会



みよし北中学対知立中学の決勝戦

【豊田】施設管理・環境関連事業を手掛けるホームメックス（本社豊田市錦町、併原幹也社長）は6、7の両日、同市中田町の高岡公園などで「中学交流野球大会ホームメックス杯」を開いた。

ことしの開催で5回目を迎えた大会の特徴は、普段の試合で出場機会の少ない選手に活躍の場を提供する点。12人以上が必ず打席に立つことや、レギュラーは正規のポジションに付かないなどの内容が、大会規定に盛り込まれている。ベンチ入り選手が12人以下の場合には文字通りの「全員野球」となる。

参加中学校は豊田市とその隣接地域の、諸輪、知立、安城北、若園、梅坪台、保見、みよし北、上郷、藤岡南、逢妻、高岡、崇化館の

12校。6日は3カ所に分かれて予選を行い、7日の決勝トーナメントは4校が駒を進めた。決勝ではみよし北中が5対2で知立中を下して優勝の栄冠に輝いた。3位決定戦では逢妻中が諸輪中を下した。

2014年12月8日
中部経済新聞